

鹿児島県三島・竹島2005年8月の昆虫類

中 峯 浩 司*

Insects recorded in August, 2005 in Take-shima, Mishima, Kagoshima Prefecture.

Koji NAKAMINE

はじめに

鹿児島県立博物館では2001年度から「触れ見る知る自然資料収集整備事業」を実施し、県内各地の自然資料の収集・保管に努めている。今回、その一環として2004年8月に鹿児島県三島村竹島において、わずか1泊2日の日程ではあったが、昆虫類の収集を行う機会を得たので報告する。

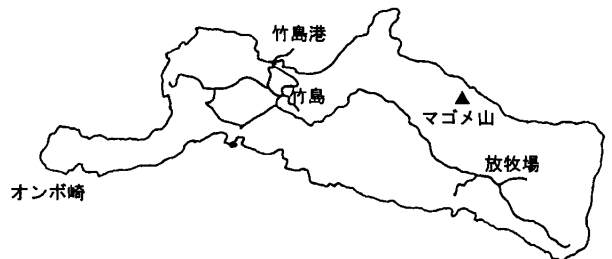
三島村は交通の便が悪いことから、調査が行き届いていない地域の1つであり、当館による竹島の昆虫類調査は今回が初めてである。

1 竹島の概要

竹島は薩摩半島と屋久島の間位置し、ほぼ同緯度に並んでいる硫黄島及び黒島をあわせて三島と呼ばれている。このうち、一番東側に位置するのが竹島で、南北に約2km、東西に約5km、周囲約9.7km、面積約4.2km²である。周囲は海食崖で囲まれ、最高点はマゴメ山（220m）である。丘陵地のほとんどがリュウキュウチクで覆われ、集落付近ではヤブニッケイ、タブノキ、イヌビワ、スタジイ、アコウ、ガジュマル（植栽）などが見られる。



竹島位置図



竹島略図

* 〒892-0853 : 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

2 調査日程

8月23日

9:30 鹿児島港出港（村営船みしま）

12:20 竹島港入港

午後 竹島集落周辺

夜間 灯火採集

8月24日

9:50 竹島港出港（村営船みしま）

*通常は10:45出港。台風の影響により出港が早まった。

12:40 鹿児島港入港

台風の影響により天気は思わしくなく、到着した日の午後は晴れ間ものぞいたが、その後は雨に降られながらの調査となった。時間が限られていたので集落周辺のみを調査し、島の西部のオンボ崎や東部の放牧場の方へは行かなかった。なお、夜は19時頃から23時頃まで、集落内にある神社境内で発電機と白布を用いた灯火採集を行った。

3 調査結果

以下に、採集・目撃した種のリストを示す。採集日はほとんどが2005年8月23日、採集者は筆者であるのでこれを省略し、24日採集のものや採集者が異なるものについてはこれらを明記した。

和名及び学名は、基本的に琉球列島産昆虫目録（東，2002）に従ったが、これに記載のないものは日本産昆虫総目録（平嶋，1989）に従った。

同定は主に筆者が行ったが、ガ類は日本蛾類学会員の福田輝彦氏に、バッタ類は当博物館参事の畑田健治氏に、有剣ハチ類は鹿児島大学理学部教授の山根正気氏及び鹿児島女子短期大学教授の幾留秀一氏にお願いした。同定に協力していただいた諸氏にお礼を申し上げる。

なお、若干の未同定標本を含め、標本はすべて当館に収蔵している。

トンボ目 ODONATA

トンボ科 Libellulidae

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* 1♂

港周辺で、崖から水がしみ出てコンクリートを浸した場所に、次の2種とともにいた。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* 1♂

ベニトンボ *Trithemis aurora* 1♂

竹島は水系に乏しく、本種が発生できるような池は見当たらない。

ゴキブリ目 BLATTARIA

チャバネゴキブリ科 Blattellidae

ウスヒラタゴキブリ *Onychostylus pallidiolus pallidiolus* 1頭

ゴキブリ科 Blattidae

ウルシゴキブリ *Periplaneta japonica* 1頭

マダラゴキブリ科 Epilampridae

サツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* 1頭

カマキリ目 MANTODEA

カマキリ科 Mantidae

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera* 2頭

バッタ目 ORTHOPTERA

キリギリス科 Tettigoniidae

クサキリ *Homorocoryphus lineosus* 1♀

コオロギ科 Gryllidae

タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus occipitalis* 2♂1♀, 幼生1♀

ヒバリモドキ科 Trigonidiidae

クロヒバリモドキ *Trigonidium cicindeloides* 1頭

ヒシバッタ科 Tetrigidae

ヒメヒシバッタ *Tetrix minor* 2♀

オンブバッタ科 Pyrgomorphidae

オンブバッタ *Atractomorpha lata* 1♂1♀, 幼生1頭

イナゴ科 Catantopidae

ハネナガイナゴ *Oxya japonica* 1♀

ハタケノウマオイ *Hexacentrus unicolor* 1♂

バッタ科 Acrididae

ショウリヨウバッタ *Acrida cinerea* 1♂

マダラバッタ *Aiolopus thalassinus tamulus* 1♀

ヨコバイ目 HOMOPTERA

セミ科 Cicadidae

クマゼミ *Cryptotympana facialis* 3♂8♀, 抜け殻3個(23日); 4♂4♀(24日)

採集した抜け殻はすべて竹島小中学校内に植栽されたガジュマルの木についていた。

クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae* 成虫5♂1♀, 抜け殻1個, 鳴き声多数

抜け殻は竹島小中学校内の校庭に植えてあるガジュマルについていた。

ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* 鳴き声を確認, クロイワツクツクよりはるかに少ない。

アオバハゴロモ科 Flatidae

アオバハゴロモ *Geisha distinctissima* 1頭

アメンボ科 Gerridae

ナミアメンボ *Aquarius paludum paludum* 3頭

マキバサシガメ科 Nabidae

ネッタイマキバサシガメ *Nabis (Tropiconabis) kinbergii* 2頭

ナガカメムシ科 Lygaeidae

ヒメマダラナガカメムシ *Graptostethus seruns* 1頭

ホソヘリカメムシ科 Alydidae

クモヘリカメムシ? *Leptocorisa chinensis* 1頭

ヘリカメムシ科 Coreidae

ホオズキヘリカメムシ *Acanthocoris sordidus* 1頭

ホソハリカメムシ *Cletus punctiger* 2頭

カメムシ科 Pentatomidae

アサスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* 1頭

エビイロカメムシ *Gonopsis affinis* 幼生1頭

コウチュウ目 COLEOPTERA

コガネムシ科 Scarabaeidae

カブトムシ *Allomyrina dichotoma dichotoma* 1♂ (8月15日, 宿泊した「旅の宿」の日高チエさん採集) 家の灯りに飛んできたものをスイカを与えて生かしていたとのこと。年輩の日高さんによると, 子どもの頃からいたということなので, 本種は以前から島内に生息していたものと考えられる。標本は寄贈していただいた。

他に24日の朝, 発電所の外灯の下でアオドウガネなどの死骸とともに多数の死骸を見つけ, 5♂の頭部と3♀の完全体を拾得した。いずれも, 県本土のものからすると小型である。

アオドウガネ *Anomala albopilosa albopilosa* 5頭

フタスジカンショコガネ *Apogonia bicarinata bicarinata* 3頭

オキナワコアオハナムグリ *Gametis forticula forticula* 7頭

シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis* 26頭

コメツキムシ科 Elateridae

サビキコリ *Agrypnus binodulus binodulus* 1頭

テントウムシ科 Coccinellidae

ニジュウヤホシテントウ *Epilachna vigintioctopunctata* 4頭

ダングラテントウ *Menochilus sexmaculatus* 5頭

カミキリムシ科 Cerambycidae

サビアヤカミキリ *Abryna obscura* 2頭

ヤクキボシカミキリ *Psacotha hilaris insularis* 1頭

ハムシ科 Chrysomelidae

クロウリハムシ基亜種 *Aulacophora nigripennis nigripennis* 1頭

ゾウムシ科 Curculionidae

ホソヒョウタンゾウムシ *Sympiezomias cribricollis* 4頭

ハチ目 HYMENOPTERA

ツチバチ科 Scoliidae

アカアシハラナガツチバチ *Megacampsomeris mojiensis* 1 ♂ 2 ♀

ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella annulata* 1 頭

ハキリバチ科 Megachilidae

キバラハキリバチ *Megachile xanthothrix* 1 頭

コシブトハナバチ科 Anthophoridae

スジボソフトハナバチ *Amegilla florea* 2 頭

キムネクマバチ *Xylocopa appendiculata* 1 頭

ドロバチ科 Eumenidae

オオフトオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum* 1 頭

スズメバチ科 Vespidae

セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae* 1 頭

アナバチ科 Sphecidae

キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum* 2 頭

コクロアナバチ *Isodontia nigella* 1 頭

ベッコウバチ科 Pompilidae

ナミモンベッコウ *Batozonellus maculifrons* 1 頭

ハエ目 DIPTERA

ムシヒキアブ科 Asilidae

アオメアブ *Cophinopoda chinensis* 2 頭

クロバエ科 Calliphoridae

キンバエ *Lucilia caesar* Linnaeus 6 頭

チョウ目 LEPIDOPTERA

<チョウ類>

セセリチョウ科 Hesperidae

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* 1 頭

チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* 1 ♂ 1 ♀ 竹島未記録種

アゲハチョウ科 Papilionidae

カラスアゲハ *Papilio bianor* 1 ♀ 竹島未記録種

集落内を飛翔中の個体を捕らえた。色彩からトカラ亜種と思われる。生かして持ち帰り採卵した結果、8月25日～26日に11卵 → 8月30日～31日に8頭孵化、うち1頭はすぐに死亡、3卵は孵化せず → カラスザンショウの柔らかい葉が手に入らなかったため、他にハマセンダンを与えたが5頭は若齢で死亡 → 1頭は終齢になったが成長不良で蛹化に至らず。2頭は蛹化して2006年1月末現在、室内で越冬中である。

モンキアゲハ *Papilio helenus* 1 ♀ 他にも集落内で見かけた。

集落内のカラスザンショウ（葉は柔らかく、孵化した幼虫が十分利用できる）の中木から卵3個と1～3齢幼虫11頭が見つかった。これらを持ち帰りカラスザンショウとハマセンダンを与えて飼育したところ、わずか1♀であるが羽化に至った。羽化個体が少ないのは餌の状態と飼育した室内の高温が良くなかったためと思われる。カラスアゲハの幼虫が含まれていたかどうかは不明である。

シロオビアゲハ *Papilio polytes polytes* 1♂ ボタンボウフウの花に来たところを採集した。竹島未記録種。

アゲハ *Papilio xuthus* 1♂ 港周辺に生えるボタンボウフウに訪花していた。他にも2～3頭見られた。

シジミチョウ科 Lycaenidae

ヤマトシジミ本土亜種 *Pseudozizeeria maha argia* 2♂

タテハチョウ科 Nymphalidae

アカタテハ *Vanessa indica indica* 1頭

<ガ類>

スズメガ科 Sphingidae

ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* [3045] 2♀

オキナワクロホウジャク *Macroglossum corythus* [3052] 1♂

ヤガ科 Noctuidae

キノコヨトウ *Cryphia obscura* [3462] 1♂

シロナヨトウ *Spodoptera mauritia* [3841] 1♀

マダラツマキリヨトウ *Calloplistria repleta* [3940] 1♂

ナカウスツマキリヨトウ *Calloplistria maillardi* [3941] 1♂

アミメツマキリヨトウ *Calloplistria aethiops* [3942] 1♀

オキナワウスイロコヤガ *Azumaia micardiopsis* [4095] 1♂

シラホシアシプトクチバ *Achaea janata* [4209] 1♀

クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica* [4229] 2♀

ムクゲコノハ *Lagoptera juno* [4239] 1♂

ツキワクチバ *Artena dotata* [4240] 1♂

クロジャノメアツバ *Bocana manifestalis* [4494] 1♂

ヤガ科の一種 1頭

ヤガ科の一種 1頭

おわりに

今回の調査では9目41科73種の昆虫を記録できた。

竹島のチョウ類については1982年6月3日～5日にモンキアゲハ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、シジミチョウsp., モンシロチョウの5種が（山根・富山, 1982）, 2002年4月17日～

19日にモンキアゲハ、シジミチョウsp., イチモンジセセリ, アサギマダラ, ヒメアカタテハ, アカタテハの6種が(福田, 2002)報告されている。また, 鹿児島県産蝶類・市町村島別分布表(大坪・田中, 1988)には, 他にヤマトシジミが挙げられている。これに, 今回新たに記録されたチャバネセセリ, シロオビアゲハ, カラスアゲハの3種を加えると, 竹島からはセセリチョウ科2種(イチモンジセセリ, チャバネセセリ), アゲハチョウ科4種(ナミアゲハ, モンキアゲハ, シロオビアゲハ, カラスアゲハ), シロチョウ科1種(モンシロチョウ), シジミチョウ科1種(ヤマトシジミ), マダラチョウ科1種(アサギマダラ), タテハチョウ科3種(ツマグロヒョウモン, ヒメアカタテハ, アカタテハ)の合計12種とシジミチョウ科の未確認種が記録されたことになる。

このうち, 県本土とトカラ列島以南に分布するカラスアゲハは, 周辺の県本土と種子島, 屋久島, 口之永良部島に分布するミヤマカラスアゲハとともに, これまで三島からは記録されていない。両種の主な食樹としては, 南西諸島にはいずれもミカン科のカラスザンショウとハマセンダンが知られ, 三島にはこのうちカラスザンショウのみが分布する。

今回採集されたカラスアゲハは, これまで三島に記録がないことやトカラ亜種に似ていることから, トカラ列島からの飛来個体である可能性が高いが, 前記の蛹が無事に羽化した際にはトカラ亜種かどうかを再度検討してみたい。

最初に述べたように, 三島は県内の離島の中でも調査が行き届いていない地域の1つである。周辺地域からの侵入昆虫も多いと思われ, これらの消滅・定着の問題は興味深い。チョウ類に関しては季節を通じた成虫の調査及び幼虫の食餌植物調査の必要がある。

引用・参考文献

- 東 清二 監修, 2002, 琉球列島産昆虫目録 増補改訂版, 沖縄生物学会。
- 平嶋義宏 監修, 1989, 日本産昆虫総目録. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター。
- 友国雅章 監修, 1993, 日本原色カメムシ図鑑. 全国農村教育協会。
- 林 匡夫ほか, 1984~1985, 原色日本甲虫図鑑Ⅱ~Ⅳ. 保育社。
- 安松京三ほか, 1965, 原色昆虫大圖鑑(Ⅲ). 北隆館。
- 山根正気・富山清升, 1983, 鹿児島県三島村硫黄島・竹島での蝶類数種の目撃例. SATSUMA 32(89), 63.
- 大坪修一・田中洋, 1988, 鹿児島県産蝶類・市町村島別分布表, SATSUMA37(100), 223-238.
- 福田晴夫, 2002, 2002年4月, 三島村竹島の昆虫類, SATSUMA52(127), 256-257.